

歌手の加藤登紀子さんが、12月に広島で行われる「ほろ酔いコンサート」を前に、縁あってじぞう通りの毎日文化センター広島を訪れた。今年はいを語った。

デビュー40周年。「夏までは振り返ることが多かったけど、これからは前に「歩み出していきたい」と思

地の人々に「自分で自分を守る気高さ」を感じたという。今回のコンサートのプログラムに自作曲「蒼空(SOUL)」を入れた。「ゼ



### あの加藤登紀子さんが 毎文に!

今夏、タイ、スリランカを回ってきた。津波の被害はまだまだ残っていたが「海は夢のようにきれいだった」という。人間の作ったものは壊されたが、自然の姿はよみがえる現実を目の当たりにした。そして、そこに住む人々は壊れた家をまた直して、あせりも悲壮感もなく生きていた。

「お金やものの便利さ。でも今の社会はどこかで崩れるのでは」という不安をずっと持ち続けてきた加藤さんは、被災地の人々に「自分で自分を守る気高さ」を感じたという。

今回のコンサートのプログラムに自作曲「蒼空(SOUL)」を入れた。「ゼ

お話は毎日文化センター広島の一室で聞いた。あふれるようにわき出す言葉や思い。しかしその語り口からは肩の力が抜け、地に足のついた大きな人という印象を受けた。

**加藤登紀子「ほろ酔いコンサート」**  
12月16日(金)18:30開演  
広島郵便貯金ホール  
S席:¥6,500、A席:¥5,500(税込)  
■お問い合わせ  
CHUGEI 電話 082-281-3882

**町のお医者さん**  
一生懸命、誠実に

昭和54年7月開業。出身地は旧高田郡白木町で、祖父の代からのお医者さん。河面博久(64)先生は「写真のモットーは「一生懸命 誠実に診察すること。毎日40〜50人の患者が訪れる。冬場は風邪やインフルエンザ、ウイルス性下痢の患者が増えるそう。」「水だけでもいいから、手洗いをしっかり。随分違いますよ。」

■河面内科  
住所 中区富士見町5-6  
電話 082-249-5456  
診療時間 9〜13時、15〜18時  
休診日 土曜午後と日祝日  
駐車場2台有り。

## 年末年始をじぞう通りで!

cafe、イタリアン、居酒屋……。大人の企画いっぱい

平和大通りに大イルミネーションが点灯する季節。「じぞう通り」では街路樹の葉がすべて落ち、街はすっきり冬のたたずまい。でも、冴えた光が降る平和大通りと対照的にどこか温かさの感

じられる二画です。散策の後、じぞう通りへ足を運んでください。ファンタジーからロマンスの世界へ。イタリアン、カフェ、居酒屋などの各店には大人の企画がいっぱい。

平和大通りとじぞう通りの角にある「CAFE」(☎242・1234)では24日19時から26時まで、ハッピークリスマスパーティーを開く。店の半分強を自由空間にし、DJを入れクラブ風に盛り上げる。バイキング制で前売り(2ドリンク付)・当日(1ドリンク付)とも2300円。

マリオ・グループ(いずれも予約は☎0120・50・4956)もさまざまな趣向を凝らす。散策後の一休みはマリオデザート富士見町のケ



「プレゼントにバラの花を添えては」と勧めるのは、生花店「hanachida momo」(☎545・5252)。赤いバラ(一本500円)やクリスマススの鉢物「ポインセチア」(400円)を店頭販売するほか、リース(直径約15cmで2000円)の注文を受け付け中。午後8時まで。



**ビルが「マーク」!**  
富士見町郵便局

じぞう通りを歩いていると、あちこち、ポスト。横に立体的な車場があり、その隣りが「キャッシュコーナー」。上を見て「富士見町郵便局」の看板、そうだったのかと納得。

1階は全面開口で、2階に大きな窓、3階はベランダが顔をのぞかせる。鉄筋コンクリート打ちっぱなしの3階建てだが、夕方になれば明かりが灯り、柔らかな風情も醸し出す。正面を建物の顔とすれば、この建物は幼いころ見たテレビアニメ「鉄人28号」にどこか似ている。94年竣工。内部空間は局と住居にうまく分けられている。間もなくやってくる郵政の民営化の波。鉄人はそのユニークさ故に頼れる存在となるに違いない。

(増田智明)

**生徒全員で界隈を清掃**  
広島アニマルケア専門学校

広島アニマルケア専門学校(中区小町8)の生徒が毎夕、小町、国泰寺町の界隈で清掃活動を展開している。

普段、飼育犬と散歩している街を少しでもきれいにと11月半ばから始めた。ヘルスケアコース・スマートフォン・スマッシュトレイニングコースの全生徒約90人が毎週木曜日に「斉清掃」を行うほか、その他の平日は、各コース当番制で20人が毎夕、ゴミばさみとビニール袋を手に街を巡回する。生徒によると、最も多いのはタバコの吸殻やお菓子の包み紙。犬などペットの糞もときどき見つかるとい。同校の山田博文学生部長は「ペットの飼育は掃除に始まり掃除に終わる。生徒たちが自分のワンちゃんだけでなく、道でゴミを見つけたら速やかに処理できる人になってくれれば」と話す。

「キセット(525円)」。すぐ横のマリオズバー&ダイニングでは22〜25日の間、クリスマスディナーコースを用意。品数に応じ5040円と7140円の2コース。忘年会・新年会用の中華系料理「フリードリンク(2時間)」が5000円、ランチ3000円というパーティープランもあり、ディナーとともに予約受け付け中。じぞう通り沿いのチャヤマリオでは4000円、4500円の2コース。中国電力本店近くの居酒屋マリオも2000〜3000円の各コースとフリードリンク(男1500円、女1200円)。

じぞう通りのワイン居酒屋「ばんざい」(☎245・3403)では、自慢のドイツ製オリジナルワインを2人に1本付けて1人3800円のクリスマスコース。「ゼクト」というドイツのスパークリングワインで乾杯し、肉・魚料理からデザートまで。

人間ばかりじゃなく、愛犬も年末年始。国泰寺公園近くのペットショップ「コナ ウィンズ」(☎247・9805)では、愛犬用サンタウエア(上写真、3240円)や各種クリスマスデコレーションを販売するほか、肉まんを使った鏡餅セット(台付きで1000円)の注文も受け付けている。

……

本物志向、記念撮影の列

**平和大通りのイルミネーション**

平和大通りのイルミネーションは、商業デイスブレイ会社「フジヤ」広島支店の社員で、江田島出身の和田敏さん(33)が企画案を考えた。今年、は物語性と本物の重視。通りの北側をピースランド、南側をハートランドに見立て、ピースランドの王子が、人々

の嫉妬心で荒廃したハートランドへ行き、その国の歌姫と馬に乗って荒野に愛を降らせ、国を再生させるストーリー。

クライマックスの舞台となるメリーゴランドに本物の木馬を使い、ピース城も立体的。光るペンチもあり、子どもだけでなくカップルなどで撮影の列が出来ている。

